

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	二. 地域住宅支援
	計画の名称	高岡市の歴史と伝統を活かした住みよいまちづくり
	交付対象	高岡市
	計画期間	平成24年度～平成28年度(5年間)
	計画の目標	高岡市の歴史と伝統を活かした市民が誇りと愛着をもって住み続けるまちをつくとともに、歴史や伝統に触れることを目的として多くの人が高岡を訪れることによる交流人口の拡大を図る。
	定量的指標 (目標値)	1 「高岡市の歴史や文化」に対する市民満足度を高める。 19.0%(H24) → 21.0%(H28) 2 高岡を訪れる観光客を増やす。 2,200千人/年(H24) → 2,530千人/年(H28) 3 歴史・文化施設を訪れる人を増やす。 4,502人/年(H24) → 6,000人/年(H28)
	対象事業	街並み環境整備事業
	全体事業費	155百万円

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	高岡市総合計画及び高岡市歴史的風致維持向上計画等との整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	関連計画において、歴史文化資産の保存活用や交流人口の拡大、市民が誇りと愛着を持てるような歴史都市の実現などを掲げており、適切な目標設定がなされている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に沿った定量的な指標が設定されている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	関連計画に基づく具体的な数値目標を掲げており、わかりやすい指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	高岡市固有の歴史的な町並み及び歴史的建造物の整備や、歩いて楽しいまちづくりを推進するため、地域資源をつなぐ道路修景整備など、目標と事業内容の整合性が確保されている。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	関連計画に基づく具体的な数値目標を掲げており、適切な指標となっている。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	高岡市固有の歴史的な町並み及び歴史的建造物の整備や、これら地域資源をつなぐ道路修景整備など、市民の愛着や観光客等の満足度が高まるといった効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市内に残る歴史的建造物の整備などを、順次、実施しており、計画の熟度は高く、住民理解も高いことから、円滑な事業執行の環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	日本遺産の認定や旧町名の復活などもあり、地元機運は醸成されている。
評価結果	評価Ⅰ 事業を実施		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの